

品川区における 市民科の取り組みについて

品川区教育委員会
教育長 若月 秀夫

Ⅰ. 包括的主権者教育 としての「市民科」

1. 「市民科」で学び身に付けること

各教科の中で個別に学ばせるだけではなく、教科として独立させ、系統的に学ばせる

**主権者・社会の
形成者としての
自己**

望ましい職業観・
勤労感を学ぶ

物事を
正しく判断
できる基準を
学ぶ

自分自身
について
考える

望ましい
人間関係の
築き方を
学ぶ

しっかりと
した人生観
をもつ

確かな知識
と豊かな
教養を
身に付ける

人として
学び続ける
意義を学ぶ

自分と社会との
つながりを学ぶ

集団や社会と
の主体的な
かかわり方を
学ぶ

2. 単元例に示される「市民科」のねらい

【3・4年生】

『どうしてルールをまもらなくてはいけないの?』

『みんないっしょに生きている ～地いきの中で生きる～』

『自分たちでできること』

『かんきょうを守る ～わたしたちにできること、
しなければならないこと～』

『くらしとお金』

『見つけてみよう、わたしの仕事』

【5・6・7年生】

『社会・生活環境への関心』

『人権問題について
考えよう』

『市民としての自覚』

『市民としての義務と責任』

『社会の中での規範意識』

『実社会での法やきまり』

『現代社会の問題』

『スチューデント・シティ
プログラム』

【8・9年生】

『社会への参加意欲の喚起』

『社会マナーとルール』

『リーダーシップ』

『地方自治への施策提案』

『社会における正義』

『日本社会の動向への関心』

『積極的なボランティア
・地域活動』

『ファイナンス・パーク
プログラム』

II. 「市民科」 創設の背景

1. なぜ「市民科」が必要なのか

社会状況からの課題

- ① 将来の社会生活を築いていく社会的存在として必要な自立性の低下、規範意識や社会的マナーの欠如
- ② ニートや引きこもりなど、社会への不適應の増加
- ③ 「私」と「公」の乖離現象
- ④ 系統的な教養教育の欠如
- ⑤ 社会を成立させている現実への無理解

2. これまでの指導の見直し

大人や教師の責任

児童・生徒の
人格形成に対する
意識を常にもって
いたのか？

「**生き方**の自覚」
「生きる**筋道**」
「生きる**術**」
身をもって教えて
きたのか？

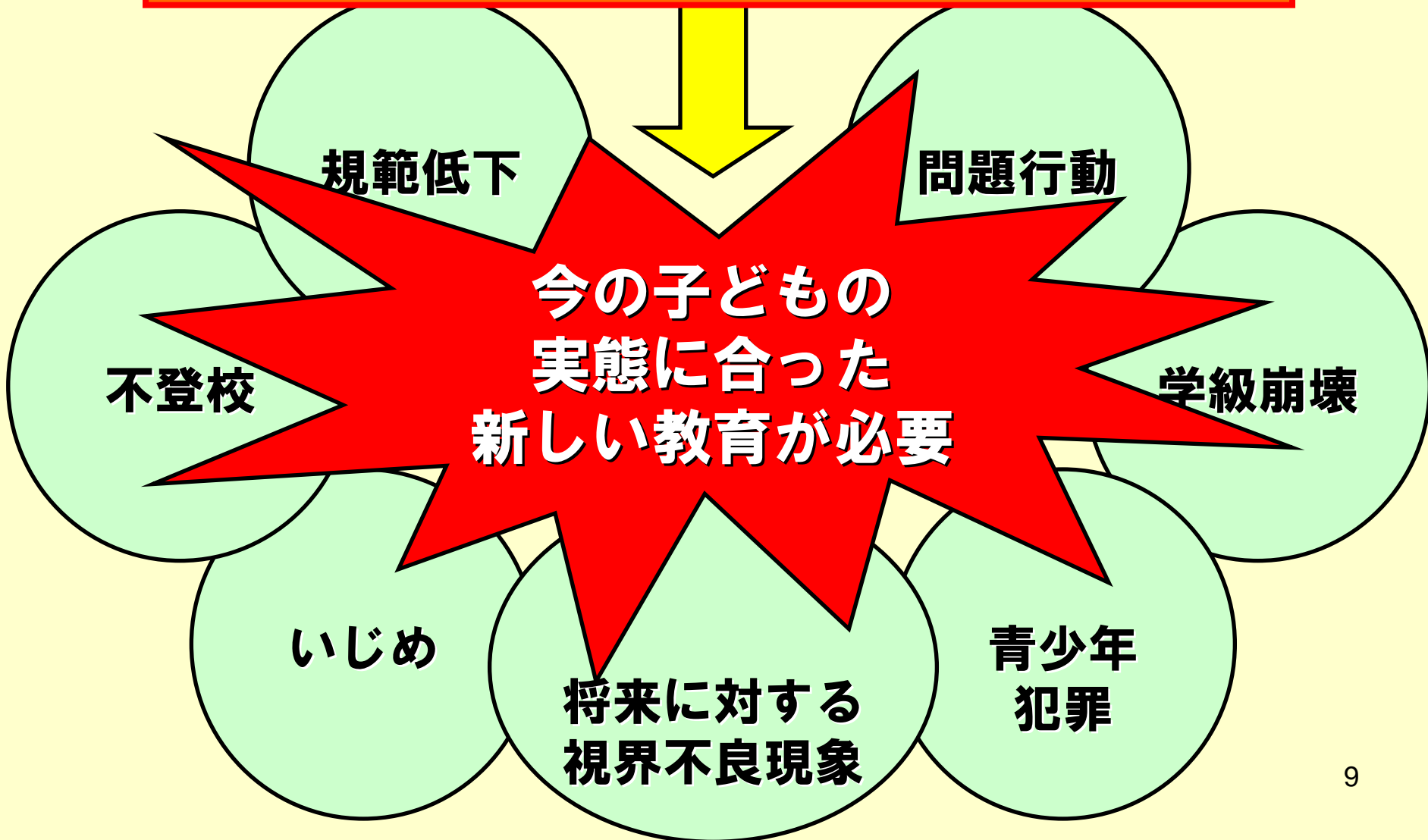
道徳・特別活動・総合的な学習の時間



個の深化と社会の構成員としての自覚
を十分に育成できるのか？

3. 学校教育が抱える課題

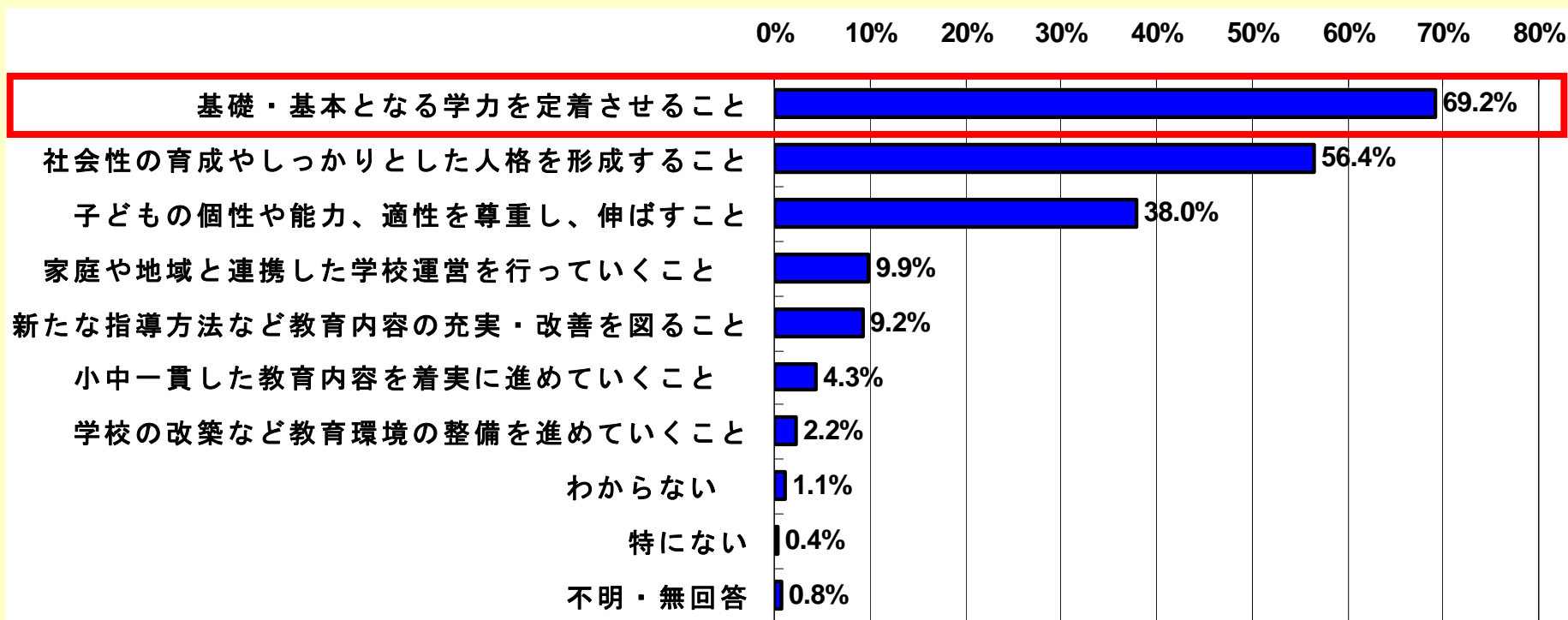
社会全体／モラルの低下・自己中心性



4. 地域・保護者の要請

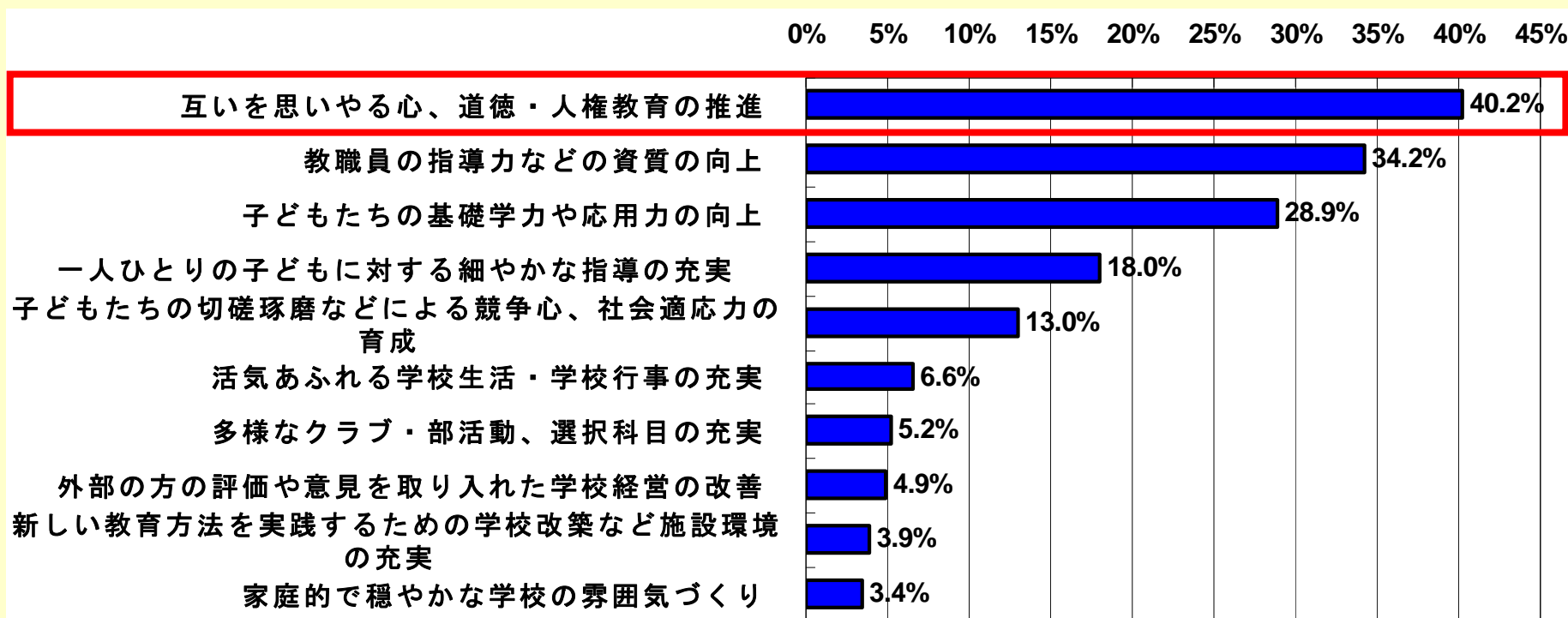
区立小中学校に関する区民アンケートより

① あなたのお子さん（お孫さん）が通っている品川区立小中学校の教育活動で特に望むことは何ですか？



平成20年3月調査 回答数1,169名

② あなたのお子さん（お孫さん）が通っている学校に対し、あるいは広く品川区立小中学校の学校教育において改善が必要あるいは不足していると感じていることは何ですか？



5. 市民科の位置付けと必要性

従来の教育の弱い点を見直し、新しい学習をつくる

解決策としての
市民科の必要性と
位置付け

教師が指導性を発揮

家庭・地域と連携

〈義務教育〉

〈義務教育〉

〈8・9年、高等教育〉

〈高等教育、大学〉

我的世界を生きる力

- ・ものの見方・考え方
- ・生きる上での座標軸
- ・信念、覚悟

我々の世界を生きる力

- ・基礎学力
- ・基本的な生活習慣
- ・社会常識

市民として生きていくための資質・能力

職業全体に対する知識や考え方（働くとは何か）

社会の一員としての自覚
特定の職業分野に関する知識や考え方

市民としての社会的役割の行使
具体的な資格

各層を通じて具体的な知識やスキルの習得

6. 市民科のねらい

教養豊かで品格のある社会人の育成

自らの在り方や生き方を自覚し、生きる筋道・生きる術を見つける（人生観の構築）

8・9年 市民意識の醸成と将来の生き方

5～7年 社会的行動力の基礎

3・4年 よりよい生活を築く態度の育成

1・2年 基本的な生活習慣や規範意識

Ⅲ. 「市民科」における 経済体験学習

1. Student City (5年生) の概要

児童が市民（消費者）あるいは経営者の立場になって
経済体験をする学習



citibank



SECOM



富士ゼロックス



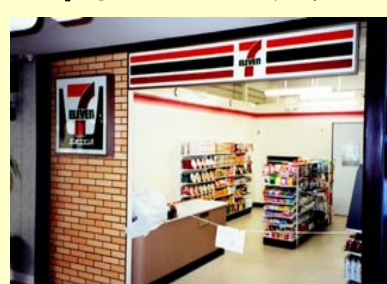
NTT東日本



クオール



共同通信



セブンイレブン



ミズノ



FedEx



Student City協議会

2. Student City カリキュラム

事前学習（8時間）

- 1 基本) 社会と自分とのかかわり
モノとサービス・機会原価・家計の収支
- 2 お金) 生活とお金の関係・銀行の役割
個人と会社・職業選び
- 3 仕事) 仕事選び（仕事をする意味・仕事と会社）
役割と責任・共存社会・取引・公的機関
- 4 会社) 価格・コスト・利益の関係
コスト、利益の考え方・販売単価
- 5・6 経営) ビジネスプラン作成
コスト表の作成、銀行ローン申請、新聞広告
- 7・8 準備) スチューデント・シティでの活動準備
電子マネー使用方法、収支記録帳の記入

事前学習例

① <第1時> 〈社会と自分とのかかわり〉

ねらい	「モノ」と「サービス」など、社会と自分とのかかわりを認識し、社会とのかかわりの中で生活していることを認識する
-----	--

① 「モノ」と「サービス」について

- ・ 「モノ」だけでなく「サービス」も売買される
- ・ 生活の中には多くの「サービス」がある
- ・ 私たちは、「サービス」により社会とかかわっている

② 自分のために使われるお金

- ・ お小遣いは自分にとっては収入、家計には支出
- ・ 「欲しいものを選ぶ」とは「一方をあきらめる」こと

② <第3時> <仕事選び>

ねらい

様々な仕事の役割と責任について学ぶとともに仕事の選択には自分の特性を生かすことの大切さを理解する

① 求職票（履歴書）を記述する

- ・ 職種を選択に向け、自分の特性（特技や性格）を記述させる（職による給与の差額有）

② 「取引（ビジネス）」について理解する

- ・ 取引には「個人」と「会社」、「会社」と「会社」で行うものがあること
- ・ 公的機関の役割（モノやサービスの提供）の理解₈

③ <第5・6時> <ビジネスプラン作成>

ねらい

自分が働く会社のビジネスプラン（給料、必要コスト等の算出）を作成する

① ビジネスプラン作成

- ・ 人件費やその他の必要費用を算出し、銀行からの借り入れ金額を決定する

② 新聞広告作成

- ・ 当日、共同通信社の新聞の掲載する新聞広告の原稿を作成する（作成の目的の理解、効果的な新聞広告等）

現地学習（6時間）～体験学習～

◎全体ミーティング

- 第1回社内会議（役割と仕事の確認、利益目標の設定、開店準備）
住民登録（スチューデントシティ協議会に住民票を提出する）
ローン申請（シティバンクへ行き、ローンを組む）

○仕事およびショッピング ※20分交代制

- 第2回社内会議（収入の確認、販売の工夫）

○仕事およびショッピング ※20分交代制

ランチタイム

- 第3回社内会議（収入の確認、販売の工夫）

○仕事およびショッピング ※20分交代制

- 第4回社内会議（収支決算、学習についての話し合い）

◎タウンミーティング 収支報告、体験学習を終えての感想

事後学習（1時間）

スチューデント・シティでの経済体験学習を終えての感想

- ・ 働くことについて
- ・ 社会の仕組みについて
- ・ 自分の将来について

3. 学習の成果

児童の感想より

<働くことについて>

- 雑に字を書いたりいいかげんな対応をしたりすることで周りに迷惑をかけた。そこから一つ一つの事柄に対し丁寧に対応することの大切さを学んだ。
- 人とのかかわりで大切なことは、言葉遣いや人に接するときの態度であるということ学んだ。

<社会の仕組みについて>

- 一人一人が自分の仕事に責任をもって行動することで、会社や世の中が機能するのだということ学んだ。
- それぞれの仕事は、互いにかかわり合い、関連しあっていることを学び、仲間の協力が重要だと理解した。

<自分の将来について>

- 自分が将来やりたい仕事について、親に相談するようになった。
- 仕事の大変さや意義を理解し、仕事を終えて帰宅する家族へ感謝の言葉をかけるようになった。

教員アンケートより

- 自分の責任を果たすことに大切さを理解し、日常生活において実践しようとする姿が見られるようになった。
- 売り上げを上げるためのアイデアを出し合うなど、目的をもって話し合うことを経験し、話し合いの大切さに気付いた。
- 仕事とは周りの人とかかわり支えあって成り立っているということを理解させることができる実践的学習である。

保護者の感想より

- 責任を果たすということについて、小学生であってもこれほど真剣に実践することができるということを認識した。
- 家庭での自分の役割について「仕事」としてとらえ、主体的に行えるようになった。

1. FINANCE Park (8年生) の概要

生活するにはどれだけのお金がかかるのか
「大人になった立場」で生活設計を体験する学習



American Airline



大和証券グループ



イオン



バンタンキャリアスクール



三井住友銀行



Aflac



三井不動産



カーセンター



パレスホテル



東京都水道局



東京ガス



東京電力

2. FINANCE Park カリキュラム

事前学習（8時間）

- 1 基本) 豊かな生活と将来計画
活動概要とねらいの説明
- 2 支払項目) 大人のお金の支出
生活費を費目別に分類
- 3 支払い方法) 様々な支払いの方法
クレジットカード、デビットカード、ローン等での支払方法の学習
- 4 貯蓄/投資/ローン) 時間はあなたの味方です!?
貯蓄とローン、株式投資についての学習
- 5 計画) 賢い生活費計画
生活費を固定費と変動費に分類し、消費パターンを学習
- 6・7 実践) 当日の活動の確認（住宅と車を購入しよう）
ファイナンス・パークでの活動を住宅と車の購入を例に学習
- 8 体験の準備) ファイナンス・パークでの活動
現地での活動のシミュレーション

事前学習例

① <第1時> 〈豊かな生活と将来設計〉

ねらい

ファイナンス・パークはどんなところなのか、そこで何を学ぶかを知る（将来設計・人生設計とは）

①ファイナンス・パークの紹介

- ・ 勤労と収入、生活と支出について学ぶ（生活を成立させるためには収入は不可欠である）
- ・ 将来設計と豊かな生活について学ぶ（豊かな生活とは職業・収入と支出のバランスを考えること）

②社会生活事柄認識テスト

- ・ 収入と支出について理解する（所得税や保険料、ローンや食費などの関係）

② <第2時> <大人のお金の支出>

ねらい

社会生活を送る上で必要な生活費や支出について具体的に考える（生きていく上で必要な費用について考える）

①生活費の実際

- ・生活にかかる様々な費用は、交通費や食費、ローンや貯蓄などの項目に分けられること

②生活費の目的別分類

- ・必ず支払わなければならないもの
- ・生活する上でどうしても必要なもの
- ・絶対に必要ではないが、暮らしを豊かにするもの
- ・金額が大きく月々の給料では手に入らないもの 等

③ <第3時> <様々な支払い方法>

ねらい

お金の支払いについて理解を深める（様々な支払いの方法の利点と問題点を考える）

①支払い方法の理解

- ・ 現金、デビットカード、クレジットカード、ローン、貯金からの支払い等がある

②クレジットの利点と問題点

- ・ 「貯金がなくても購入できる」一方「自己破産など財産管理を台無しにする」可能性があることなどを理解する

④ <第6・7時> <当日の活動の確認>

ねらい

グループでファイナンス・パークでの活動を練習し、当日の活動を確認する

①個人情報をもとにした活動シミュレーション

- ・ 個人情報カードの内容をもとに手取り月収を算出する（税金・健康保険料・年金を差し引く）
- ・ 生活費計画の各項目（住宅費・光熱費・貯蓄・レジャー費等）で使える上限と下限を算出する
- ・ 生活費計画の根拠を決定する（各項目に対する自分の考えを明らかにする）

現地学習（6時間）～体験学習～

●条件提示

- 架空の生活環境の条件が設定されたカードを受け取る
（年齢・年収・家族構成が設定されている）
- 指定された条件の中で、自分の家族が潤いのある生活を行うことができるように消費計画立案する

●情報収集

- 生活用品の内容や価格の情報をコンピュータ等から収集する
（住宅費・光熱費・食費・自動車ローン・貯蓄・旅行等）

●生活費計画作成

- 収集した情報より1ヶ月の収支計画を作成する
（ゆとりと潤い・バランスのとれた生活とは）

●最終意思決定

- コンピュータで支払いを完了し、支出記録帳を持って自分の収支を点検する

事後学習（1時間）

ファイナンス・パークにおける生活設計体験学習を終えての感想

- ・ 体験学習で学んだこと
- ・ 将来の進路選択について

3. 学習の成果

生徒の感想より

<体験学習で学んだこと>

- 自分の収入にあわせてどのような生活をするかをいつも考えるようにすることが大切だと思った。
- ファイナンス・パークで学んだことは、「何かを得るためには何かを諦めなくてはならない」ということだ。

<将来の進路選択について>

- 今回の学習を通じて、ローンのことや食費のことなど今まで全然考えなかったことを考えさせられた。そして僕は自然と将来のことについて考えた。
- 大人になると出費が増えて大変だと思うと同時に自分は将来ちゃんとやっていけるのか不安になった。大人になるのはまだ先で今は何も考えなくていいと思っていたが、そろそろ将来のことを真面目に考えなくちゃ駄目なのかなと思った。

教員アンケートより

- 実際に支払をしているような**臨場感を味わえた**ことにより、真剣に取り組むことができた。
- 様々な条件設定に生徒は大変興味を持って学習できた。将来の生活に役立てるといふより、あらためて今の生活の中で**保護者に感謝する気持ち**を抱く生徒が見られた。
- 自分の将来を考える時に、夢ばかりではなく**確実な収入が必要**であると実感していた。

保護者の感想より

- 中学生という時期に生活設計を体験し、**自分の将来を考えることは大変貴重**であると感じた。